

緑と清流のまち

わかさ 議会だより

第175号
令和3年
5月号
WAKASA TOWN



議会事務局のアドレスへ

虫さん
見つけ!

- P2~3 令和3年度当初予算
- P4~5 予算審査特別委員会
- P10~13 一般質問
- P18 わたしの想い(太田さん)

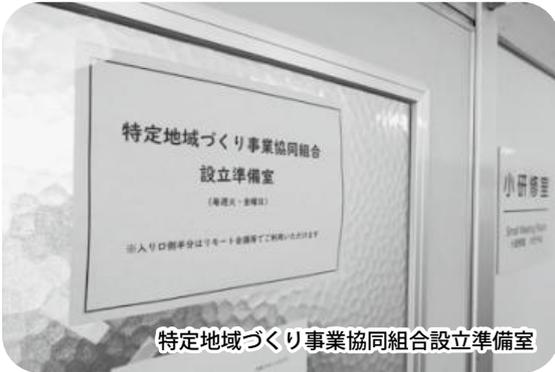
で可決

一般会計 総額

38億5700万円

特定地域づくり事業

1497万円



特定地域づくり事業協同組合設立準備室

地域における安定的な雇用環境の確保のため協同組合を設立し、地域での担い手確保と一定の給与水準を確保した職場を作り出し、人口流出・人口減少対策を講じるとともに、地域事業者の維持や地域経済の発展に寄与するもの。

依存財源 (81.5%)

31億4511万円

自主財源 (18.5%)

(町税・財産収入・寄附金・繰入金・繰越金・諸収入・負担金及び使用料など)

7億1189万円

な規業

若桜材需要拡大推進事業

7550万円



株式会社ウツティ若桜

木材乾燥機等導入事業

木材乾燥機及びモルダーを導入する経費を支援するもの。

4000万円

常備消防費

9674万円



八頭消防署若桜出張所

八頭消防署若桜出張所建替事業
八頭消防署若桜出張所建替に伴う、敷地造成工事を行うもの。

3400万円

第2回

3月定例会

(令和3年3月9日～19日)

令和3年度当初予算 全会一致

適応指導教室運営事業

482万円



若桜学園

若桜町不登校児童・生徒への支援事業

いじめや発達、家庭の状況などで学校に通えない、教室に入れないなど課題を抱える児童生徒に対し、教室・学校復帰のための学力を保障するため、公民館や学校相談室、ICTを活用して自宅等での学習を支援するもの。

330万円

氷ノ山集客促進事業

5314万円



氷太くんグラウンド

氷ノ山グラウンド整備事業

氷ノ山グラウンドの整備に向け、測量設計を委託するもの。

850万円

主
新
事

特別会計

事業名	予算額
国民健康保険	4億3430万円
介護保険	7億810万円
後期高齢者医療	5767万円
簡易水道	3億298万円
公共下水道	1億5348万円
農業集落排水	6215万円
赤松団地造成	56万円
財産区造林	798万円
索道	3541万円
住宅新築資金等貸付	90万円

道の駅管理事業

5809万円



道の駅若桜 桜ん坊

貸店舗整備事業

利便性向上による集客力強化を図るため道の駅構内に貸店舗を整備し、コンビニエンスストアを誘致するもの。

5250万円

予算審査特別委員会

委員長 青木 一憲議員
副委員長 川上 守議員

令和3年度若桜町一般会計予算

■審査の経過

3月10日、11日、12日、15日、17日、18日の6日間にわたり委員会を開催し、町長ほか、各課長及び関係職員の出席を求め、慎重に審査を行った。

■主なる意見

歳出

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

商工振興事業の小中企業への支援、氷ノ山集客促進事業の氷ノ山関連施設等の管理委託など氷ノ山活性化推進の予算の他に、多額の交付金が予備費として計上されている。新型コロナウイルス感染症対策として、町民の生命と健康・生活を守るため適切に予算化し執行されたい。

■審査の結果

「同和対策事業に対する補助金」、「道の駅管理事業のうち貸店舗整備事業」、「氷ノ山集客促進事業のうち氷ノ山関連施設の指定管理事業」について反対する意思表示がありましたが、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定した。

令和3年度特別会計

国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療・簡易水道事業・
公共下水道事業・農業集落排水事業・赤松団地造成事業・財産区造林事業・
索道事業・住宅新築資金等貸付事業

■審査の経過

3月10日、11日、12日、15日、18日の5日間にわたり委員会を開催し、町長ほか、各課長及び関係職員の出席を求め、慎重に審査を行った。

■審査の結果

採決の結果、全会一致で原案を可決すべきものと決定した。



予算審査の様子

※委員長の選任・辞任

3月9日の本会議において、前住孝行議員を委員長に選任したが、3月12日に諸事情により辞任。同日、再度委員長を互選し、青木一憲議員を選任した。

令和2年度 一般会計補正予算(第7号)



新型コロナウイルスワクチン(イメージ)

**新型コロナウイルス
ワクチン接種事業**
新型コロナウイルスワクチン接種費
(委託料)
134万円

補正額
1億3585万円
減額
総額
42億6778万円

主な事業



日本交通高速バス

バス運行事業
委託金・補助金の減額によるもの
△1920万円



除雪の様子

道路維持費
除雪作業委託の増額によるもの
1310万円

一目でわかる 審議結果

第1回議会臨時会 2月12日

補正予算	令和2年度若桜町一般会計補正予算（第6号）	可決
	3220万円減額し、歳入歳出予算をそれぞれ、44億363万円とした。	

第2回3月議会定例会 3月9日～19日

予 算	令和3年度若桜町一般会計予算	可決
	歳入歳出予算の総額をそれぞれ38億5700万円とした。 （本会議において前任孝行議員から予算に対する※動議（賛成者 中尾理明議員）が提出されたが、書類に不備があったとして取り下げられ、討論もなく委員長報告のとおり全会一致で可決された。）	
	※動議とは!? 会議中に予定議案以外の議題を議員が提出すること。	
	令和3年度若桜町国民健康保険事業特別会計予算	
	歳入歳出予算の総額をそれぞれ4億3430万円とした。	
	令和3年度若桜町介護保険事業特別会計予算	
	歳入歳出予算の総額をそれぞれ7億810万円とした。	
	令和3年度若桜町後期高齢者医療特別会計予算	
	歳入歳出予算の総額をそれぞれ5767万円とした。	
	令和3年度若桜町簡易水道事業特別会計予算	
	歳入歳出予算の総額をそれぞれ3億298万円とした。	
	令和3年度若桜町公共下水道事業特別会計予算	
	歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億5348万円とした。	
	令和3年度若桜町農業集落排水事業特別会計予算	
歳入歳出予算の総額をそれぞれ6215万円とした。		
令和3年度若桜町赤松団地造成事業特別会計予算		
歳入歳出予算の総額をそれぞれ56万円とした。		
令和3年度若桜町財産区造林事業特別会計予算		
歳入歳出予算の総額をそれぞれ798万円とした。		
令和3年度若桜町索道事業特別会計予算		
歳入歳出予算の総額をそれぞれ3541万円とした。		
令和3年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算		
歳入歳出予算の総額をそれぞれ90万円とした。		
補正予算	令和2年度若桜町一般会計補正予算（第7号）	可決
	1億3585万円減額し、歳入歳出予算をそれぞれ、42億6778万円とした。	
	令和2年度若桜町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	126万円減額し、歳入歳出予算をそれぞれ、4億6693万円とした。	
令和2年度若桜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	可決	
345万円減額し、歳入歳出予算をそれぞれ、5823万円とした。		
令和2年度若桜町財産区造林事業特別会計予算（第1号）	可決	
788万円減額し、歳入歳出予算をそれぞれ、201万円とした。		

	若桜町過疎地域自立促進計画の変更 計画に事業内容の追加をするもの。		可決
	工事請負契約の変更契約の締結 工 事 名 若桜町地域福祉センター改修工事 工 事 場 所 八頭郡若桜町大字若桜 契約の相手方 こおげ建設株式会社 変更契約金額 変更前 1億1085万8000円 変更後 1億1540万2100円		可決
	公の施設の指定管理者の指定（道の駅若桜 桜ん坊） 公の施設名称 道の駅若桜 桜ん坊 指定管理者 一般財団法人 若桜町観光開発事業団 指定の期間 指定の日から令和5年3月31日まで		可決
	若桜町有土地の貸付 貸付の目的 若桜木材工業団地敷地 土地の所在地 鳥取県八頭郡若桜町大字若桜字円徳1308番地1 他102筆 面 積 38970㎡ 貸付金額 年額 令和3年4月1日から令和4年3月31日 95万5854円 令和4年4月1日から令和5年3月31日 92万5020円 令和5年4月1日から令和6年3月31日 92万5020円 貸付期間 令和3年4月1日から令和6年3月31日までの3年間 貸付の相手 株式会社ウッディ若桜		可決
	工事請負契約の変更契約の締結 工 事 名 R2 若桜簡易水道（若桜・赤松地区）統合 新配水池築造工事 工 事 場 所 八頭郡若桜町大字若桜 契約の相手方 中一建設株式会社 変更契約金額 変更前 1億4135万円 変更後 1億2474万6600円		可決
陳情・請願	八東川権現河原の過剰土砂の解消についての陳情 未解決の権現河原の堆積土砂を撤去する安心安全な環境整備の実現を求めるもの。 （主なる意見：施工の優先順位は低いと聞いている。河川付近の住民の不安を解消するため、事業主体である県に対する要望を引き続き行う必要がある。）	委員会審査結果 採択	採択
議員提出議案	若桜町議会委員会条例の一部改正の一部改正 若桜町議会委員会条例を改正するもの。		可決
	若桜町議会委員会条例の一部改正 若桜町議会委員会条例を改正するもの。		可決

お詫びと訂正

1月29日発行の「議会だより2月号第174号」のP4審議結果・討論『その他』において、字句の誤りがありました。

正しくは以下のとおりです。お詫びして訂正いたします。

正

鳥取県町村総合事務組合規約の一部改正について
共同処理する事務を変更するもの。

誤

鳥取県町村総合事務組合規約の一部改正について
共同処理する事務を変更もの。

今年度の議員座談会は

～ご参加いただく町民の皆様の安全確保を第一に～ 令和3年度議員座談会は中止します

新型コロナウイルスの感染状況等を鑑み、ご参加いただく皆様の安全確保並びに万全な環境での開催が困難であると判断し、今年度も実施しないことといたしました。皆様の健康を守る観点から、なにとぞご理解賜りますようよろしくお願いいたします。

なお、この座談会は、町民の皆様にかかれた議会と町民参画の町政を目指した「議会基本条例」に基づき、議員が集落に出向き、議会活動の状況報告や、議会活動に対する意見や町政に対する提言などを直接お伺いし、自由に情報及び意見を交換することにより、本町議会の機能向上と活力ある豊かな地域づくりに資するために毎年開催してきたものです。この事態が収束し、来年度以降に開催を決定した際にはご参加くださるようよろしくお願いいたします。

鳥取県町村議会議長会・全国町村議会議長会 自治功労者表彰

令和3年2月17日、ホテルモナークで鳥取県町村議会議長会自治功労者表彰式が執り行われました。
若桜町議会からは、2名の議員が表彰されました

鳥取県町村議会議長会表彰

- 町村議会議長として6年以上在職し、功労のあった者
八頭郡若桜町議会 議長 川上 守



全国町村議会議長会表彰状並びに記念品伝達

- 町村議会議長として7年以上在職し功労のあった者
八頭郡若桜町議会 議長 川上 守

- 町村議会議員として27年以上在職し功労のあった者
八頭郡若桜町議会 議員 中尾理明



詳しくは

若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録

3月議会定例会の一般質問は、3月17日に行われ、4人の議員が町政の課題について質問しました。

質問の要旨と町長の答弁は、質問を行った議員が要約して掲載しています。



質問者

- 山根 政彦 (P10)
- 中尾 理明 (P11)
- 山本 安雄 (P12)
- 前住 孝行 (P13)

農産物の集荷

集荷システム構築の進捗状況は
現時点において進展がある状況に至っていない



山根 政彦

Q 過去3回にわたり農産物の販売などの集荷・流通システムの構築について質問をしましたが、3回とも「高齢者の生きがいづくりに必ず繋がると思うので、ぜひ取り組みたい。」と答弁を頂いています。現在、現在の進捗状況を伺います。

A (町長) 現時点に

県内の事例を参考にしながらJA、トスク、道の駅の取り組みを基に、効率的・効果的な集荷機能を組み合わせることが出来ないか、引き続き検討し、農家の方々への選択肢の一つとして、提案出来る形を模索していきたいと考えています。

氷ノ山ブランド
現在の進捗状況は
令和4年秋供用開始予定

Q 令和元年6月議会定例会において、氷ノ山ブランドの整備をどのように進めるのか、

また完成時期についても質問をした時、「令和3年度に着工し、令和5年度には、供用開始出来るように進めたい。」と答弁されていますが、現在の進捗状況を伺います。

旧巻米分校
活用についての現在の進捗は
地元と活用方針を協議する

Q 令和元年9月議会定例会において、旧巻米分校を氷ノ山リゾートと併せて活用してい

くことを、考えておられないか質問しました。「分校は集落の拠点施設であり、まずは地元の方を聞き、一緒に考えたい。」と答弁されましたが、現在の進捗状況を伺います。



旧巻米分校

Q 平成30年12月議会定例会において、「国道29号に、ゆずりゾーンを、何ヶ所か設置して頂きたい旨の要望を、国土交通省へ行っては。」という質問をしましたが、現在の進捗状況を伺います。

A (町長) 令和元年7月に地元自治会に対し、地元福祉厚生及び地域振興に期するものを優先し、施設の改修に係る費用及び維持・修繕費用は、町が負担するとの施設管理等の基本方針を示した上で、施設の活用について協議をお願いしています。非常に重要な案件であると認識して

この他に「危機管理関係について」など、質問しました。

A (町長) 国道29号沿線の自治体が協力して、ゆずりゾーンも含めて、緊急度の高い場所から順に、国に要望していきたいと思っています。

国道29号
ゆずりゾーン設置要望の進捗は
沿線自治体と協力して要望する

おり、地元の方と共に検討していきたいと考えています。

Q 一般質問 A



中尾 理明

地方行政
デジタル化

住民サービス低下、個人情報流出、不正利用懸念

住民の便益向上、個人情報管理、悪用に注意する

Q 国は、自治体戦略2040構想等一連の施策により地方行政へのデジタル化を促進させています。

公務員削減、住民サービスの低下や住民データの利用等々、地方行政と住民に悪影響が及ばないか心配です。また、IT・SNSなどが理解困難な方などにはどのように対処されるのか、お聞きします。

す。

A (町長) 国は、デジタル化推進のため、マイナンバーカードの普及拡大等動きを活発化させています。デジタル技術やデータを活用し、住民の便益を向上させると共に、行政サービスの向上を図り、住民サービスの低下を及ぼすようなことがないよう、高齢者の皆さん等へ配慮しながら進めたいと思います。

Q 最近では、LINE E個人情報の保護の不備など、個人情報の事故が起きている。

また、マイナンバーカードに健康保険証機能追加も予定されています。

ますが、情報流出に対し、十分な監視が必要です。また、マイナンバーカードによる住民票などのコンビニ交付により、窓口での受付が廃止され、住民サービスが低下しているという実例もあると伝えられています。どのようにお考えですか。

A (町長) マイナンバーカードは、普及率が低い状況ですが、身分証明書としての活用、他、住民票の交付、保険証、免許証などの活用範囲の拡大が考えられています。同時に個人情報管理の問題、悪用されない等々、十分な注意を促すと共に、住民サービスの低下を招かない様にしたいと思えます。制度設計ができていない部分については、国への要望としてしっかり伝えていきます。

赤松・桜井・若水
水道統合
事業全体の住民説明を早急に実施し、集落への説明会に急ぎ出かける

Q 現在、建設中の新配水池建設は、令和4年度稼働予定で、その後若桜と赤松との統合が進められます。統合後の水道料金など諸課題についての町の丁寧な説明が必要ですが、昨年は、自治会長会は開催されず、閲覧された自治会長会資料では理解不能です。議会常任委員会では、自治会長には個別に連絡するとの回答でしたが、自治会長に連絡されています。自治会長に連絡されていません。早急に自治会長だけでなく、関係する地域の住民説明会を行うべきです。どう考えておられますか。

A (町長) 国の予算配分もあり、令和3年

度になれば、供用開始時期が予測できます。対象の自治会長と説明会の日程調整を急ぎ、水道施設の維持管理の経緯や新料金の考え方、徴収開始時期など丁寧な説明を行い、御理解に努めたいと思います。

この他に、「新型コロナウイルス感染症に対応する積極的検査について」質問しました。



新配水池予定地

質問 A

林業施策

東京・大阪事務所へ相談

林業で都市部と交流を



山本 安雄

Q 林業は森林整備や製材で雇用を生み、公益的機能を発揮し、間伐により収入が得られる好循環の産業であると認識していますが、町長の所見を伺います。

A (町長) 森林資源を循環利用して経済的にも環境的にも豊かになるように引き続き取り組めます。

Q 令和2年3月の一般質問で、森林環境譲与税の使途について「都市部とのネットワークづくりを検討したい。」との答弁があったが、その後の経過を伺います。

A (町長) コロナ禍の影響で話をする機会がもてなかった。来年度、東京・大阪事務所へ出て交流場所等々の紹介をしていただきたいと思います。

Q 林業の好循環をより促すために都市部の町産材利用も助成対象としてはと考えると、町長の所見を伺います。

A (町長) 計画を策定すれば、「公に調査が可能になる。」「国の補助事業が活用できる。」などメリットもあり計画の策定に向けて考えています。

A (町長) 都市部が森林環境譲与税を使って、町産材を購入して頂くよう働きかけてみたいと思っています。

空家対策	
空家等対策計画策定は	メリットもある

Q 平成26年に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」は、「空家等対策計画」が策定できます。所有者等に適切な管理を促す上で有効なもので策定してはと思いますが、所見を伺います。

Q 過去、道の駅にコンビニの建設が予定されていたが見送られた経緯と、設置場所について、町民はどのような声であったのか伺います。

A (町長) 詳細な過

コンビニ	
なぜ公設民営	事業リスク回避

Q 道の駅の敷地内に、コンビニエンスストアの建設が予定されています。町長が期待されている効果を伺います。

A (町長) 社会インフラとしての機能・地域防災の貢献を期待し、道の駅は、これまで以上に若桜町産品の販売拠点・重伝建認定も併せ交流人口の拡大、宿内の活性化を図りたいと思っています。

去の経緯は正確な答弁ができません。設置場所は、特定されていません。

Q 公設民営を選択した理由について伺います。

A (町長) 平成27年度に作成した若桜町総合戦略に公設民営によるコンビニエンスストアの設置を明記しております。また、某コンビニチェーンから公設民営の提案があり、業者と意見交換を行ったが建設費用などの事業リスクが高いので公設民営方式を決断した。



道の駅駐車場

般

Q



前任 孝行

人口減少

本町の取組をさらにPRしては
いろいろなものをつなげてPRしたい

Q 全国的にコロナ禍で出生数が大幅に減少しているが、本町の出生数の現状。また、課題をどのように考えているのか、町長にお尋ねします。

A (町長) 出生数は、平成19年から減少が始まり、平成25年には過去最低の7人まで落ち込みました。その後は、10人台で推移していま

したが、令和2年は、平成25年の7人を下回る過去最低の6人となり、今後さらに減少が進めば、地域経済の衰退、地域コミュニティの崩壊などを招く恐れがあります。

このような中、本町としては、結婚の推進や結婚後の住居への支援、さらには妊娠、出産期、または子育てに対する支援などが課題であると考え、新規で新婚世帯住宅支援補助金、婚活応援事業補助金、子育て応援給付金の支給などの取組を当初予算にも計上しています。

また、若い人の就労の場を創出していくた

めの特定地域づくり事業にも、積極的に取り組む予定です。

Q 本町の子育て支援は、充実しています。本町で子育てをしたいと思えるよう、町内外に向けて子育て支援のPRをさらに考えていくべきだと思えますが、町長の所見を伺います。

A (町長) PRの仕方、は、広報紙だけでは弱いと重々承知しています。今の時代ですのでSNSの活用、また、動画ができるかどうか



子育て応援ガイドパンフレット

検討していきたいと思います。できるだけいろいろなものを使って、いろいろなものがつながらようPRしていく必要があると思います。

終活支援	
エンディングプランサ	ポータル事業導入しては
他の事業で取り組んでいる	

Q 町内での孤独死や孤立死の事例が、過去5年でどの程度あるのか。また、引取手のない「無縁遺骨」の実績は、ここ数年であるのかお尋ねします。

A (町長) 近所の方が最近顔を見ない、新聞がたまっていない等の異常に気づかれた場合は、すぐに役場や社会福祉協議会に連絡がくると、地域とのつながりや見守りのできる関係性ができているため、孤独死、孤立死に

は至っていないかと思っています。また、死亡後、遺骨の引取手がいない無縁遺骨についても、ここ数年間の実績はありません。

Q 兵庫県高砂市などが行っている「エンディングプランサポーター事業」を展開してはと考えますが、所見を伺います。

A (町長) 県東部の1市4町で取り組んでおります東部地区在宅医療介護連携事業において、終活支援も併せたアドバンス・ケア・プランニングの普及啓発を行っていますので、提案の事業に取り組むことは考えていません。

常任委員会報告(抜粋)

第3回 2月18日 木曜日

月例常任委員会

○にぎわい創出課

- ・(一財)若桜町観光開発事業団の経営状況について
委託料及び雇用調整助成金の明確な説明を求めるとともに、今後の事業団のあり方を、執行部として検討をする必要がある。
- ・迎賓館の活用について

現在の利用実績、賃貸状況の説明を受けた。所有者との協議に対しては、議会の意見も踏まえて協議して頂きたいと要望した。

- ※「わかさ森林(もり)づくりビジョン」(農林建設課)・「特定地域づくり事業」(ふるさと創生課)など調査



迎賓館

第4回 2月22日 月曜日

所管事業調査 にぎわい創出課

○公設民営のコンビニエンスストアの設置について

若桜町総合戦略策定時(平成27年9月)の町民アンケート及び若桜学園こどもシンポジウムから提案が出されたコンビニエンスストアの設置について、令和3年度に公設により設置する方向で検討を進めている旨の説明があった。

○氷ノ山グラウンド(仮称)について

陸上用トラックではなく、多目的グラウンドとしての造成を検討している。今後、芥米集落とも相談しながら進めたい旨の説明を受けた。

○道の駅若桜の指定管理について

(一財)若桜町観光開発事業団を指定管理者に考えている旨の説明を受けた。



氷ノ山グラウンド(仮称) 予定地

第5回 3月2日 火曜日 3日 水曜日

令和3年第2回若桜町議会定例会上程議案(補正・条例等)

○総務課

- ・若桜町課設置条例の一部を改正する条例など
農林建設課の業務の分担を見直し、建設部門と農林部門に再編するもの。(P7条例を参照)

○ふるさと創生課

- ・指定給付金など
ふるさと納税増額補正

○農林建設課

- ・道路維持費など
除雪対策に伴う増額補正

- ※その他、税務課、町民福祉課、にぎわい創出課、教育委員会、議会事務局からも説明を受けた。



除雪車

第6回 3月4日 木曜日

(一財)若桜町観光開発事業団との意見交換

○公の施設の管理運営方法について

- ・パトロール隊員事故の状況説明に対する意見
氷ノ山地区のヘリポート設置体制並びに危機管理体制ができていないのではないか。
- ・雇用調整助成金についての意見
組織内での勤務状況に不公平感があるのではないか。

- ※その他、人材育成の大切さ、経営改善計画の進捗状況などの意見交換を行った。

■ 総務産業教育民生

第16回 12月18日 金曜日

月例常任委員会

- ふるさと創生課
 - ・若桜町総合戦略の施策案について
資料をもとに説明 ※常任委員会に相談しながら進めていく予定。
 - ・特定地域づくり事業について
均衡・均等方式、又は、労使協定の選択は可能であるが、労使協定を選択すると既存事業者の賃金ベースより高くなる傾向があり、正規職員から不満が出る可能性がある。
- にぎわい創出課
 - ・旧戸倉トンネルの活用状況について
米の保管場所にするなど、もっと旧戸倉トンネルを活用すべきである。
- 観光施策について
 - ・若桜鉄道に係る観光施策について
観光行政のビジョンが見えていない。観光は、観光協会や事業団に任せたままでなく、もっと行政も関わりを持ち、時にはリーダーとしての役割が必要。



旧戸倉トンネル

第1回 1月21日 木曜日

月例常任委員会

- にぎわい創出課
 - ・(一財)若桜町観光開発事業団の経営状況について
1月11日までの各施設の経営状況を、資料をもとに説明を受ける。
※雇用調整助成金などの活用方法について疑問が残り、次回常任委員会で確認する。
- 総務課
 - ・第3次若桜町行財政改革大綱(案)について
令和2年度中に策定し、実施計画は令和4年度になる。ただし、大綱については、令和3年度は、出来ることから進めたいと説明を受けた。
- 農林建設課
 - ・R2若桜簡易水道(若桜・赤松)統合新配水池築造工事の状況について
作業道を3メートルから4メートルに幅員変更。若桜赤松統合は、令和3年度設置して、供用開始予定は令和4年度からである旨の説明を受けた。
- 町民福祉課
 - ・町内での新型コロナウイルスワクチン接種の体制について
国の必要な財源措置・接種事務について資料をもとに説明を受けた。



高原の宿氷太くん

第2回 2月12日 金曜日

令和3年第1回若桜町議会臨時会上程議案(補正)

- 町民福祉課
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業補正
- 農林建設課
 - ・有害鳥獣駆除対策事業報償費補正
- 総務課
 - ・令和2年度一般会計補正予算財源説明
その他で、消防署移転に伴う立木補償の積算根拠の再説明を受けた。

特集



議会改革調査特別委員会報告



若桜町議会の議員定数は 現状のまま10人とする。

定数

議会改革調査特別委員会で議員報酬・議員定数について協議を行い議員報酬については、同額と結論を出しました。今回は定数についての協議結果を掲載します。

議員の考えは？

令和2年1月時点の議員アンケート結果

- 直ちに削減するのではなく、委員会運営の状況をみながら来期にかけて検討しては。
- 最低でも10人の考え方があり、意見を戦わせ、協議を重ね、議会としての意見をまとめていくことが重要である。
- 議員定数が9人以下になれば、多様な住民要求・意見が反映しにくくなる。10名が必要である。
- 現在9人で常任委員会が運営できている。定数9人で続けるのが普通だと考える。
- 定数10人を9人とすべきだと思う。そうすることで報酬を上げることも考え、1常任委員会で活動していくべきと思う。
- 町財政、無投票の要因となる懸念、過去定数削減の経過を考えると現状のまま10人で良い。
- 住民の付託に十分かなうようであれば、定数8人としても良いと思う。しかし、現時点で定数の削減は大変危険であり、協議を重ねるべきと考える。
- いずれは定数を削減しなければならない時がくる。9人にしてはと思う。
- 9人1委員会で問題なければ、報酬の復旧・増額などのこともあり9人でも良いのではないかと。

協議の結果

令和3年1月21日、2月22日に議会改革調査特別委員会を開催

上記の令和2年1月アンケート後、議員の考えには大きな変わりはないものの、「減らすべき」と考えていた議員が減り、結果、9名中7名が「現状維持が妥当」とし定数10名で議会を運営することとした。

(参考) 地方自治法91条 市町村の議会の議員の定数は、条例で定める。

公職 選挙法

選挙費用を公費で負担

令和2年法律第45号
令和2年6月12日公布

目的：立候補に係る環境の改善のため
内容：選挙公営の拡大（若桜町議会議員選挙について記載）

区分	公費の有無	金額算定基礎	備考
選挙運動用自動車	有	ハイヤー方式 上限64,500円/日 レンタカー方式 上限15,800円/日 運転手雇用 上限12,500円/日	告示日から投票日前日までの使用日数
選挙運動用ポスター	有	上限単価 (525円6銭/枚×掲示場数+62,100円)/掲示場数 上限枚数 掲示場数×1.6	町内掲示場数 66カ所
選挙運動用ビラ	有	上限単価 7円51銭/枚 上限 1,600枚	

供託金制度を導入

区分	金額	備考
供託金	150,000円	((有効投票数÷議員定数)÷10)未満の得票で没収

※供託金が没収される場合は公費の請求はできない。

継続 チェック

あの審議結果どうなった？

陳情審査

請願・陳情の経過及び結果（令和3年3月定例会時点）

審査時期	請願・陳情書名	審議結果	経過及び結果（要約）
	請願・陳情者名		
令和2年 9月	中之島町関係施設への防犯灯設置早期実施に関する陳情	採択	町道屋堂羅1号線の中の島公園側歩道に ①既存の街路灯を蛍光管からLEDへ付替 ②公園入口から宮ノ下橋中間部分にLED街路灯を1基新設し、3月6日より供用開始している。
	屋堂羅自治会長		
令和2年 12月	令和3年度若桜町商工会一般補助金の増額に関する陳情書	採択	令和3年度当初予算において増額した補助金を計上済み。
	若桜町商工会会長		

わたしの想い

このコーナーでは、町民の皆さんからの御要望や率直なご意見を紹介いたします。

「循環」

太田 ^{まさな} 昌那さん (中町)

2020年5月に家族4人で若桜町へ移住してきました。私は京都、妻は長野出身です。結婚した当初は京都に住み、子宝にも恵まれ何不自由なく生活していましたが、しだいに都会のマンション暮らしに息苦しさを感じ、引越しや転職を考えるようになりました。

私達夫婦は食を通じて出会ったということもあり、いずれ、食べる物はできるだけ自分たちで作りたいたいという思いもあり、良い環境を探していた時、様々なご縁で若桜町へと導かれ気がつけば林業の仕事に就いていました。前職は魚屋、その前は整体師と、いったい何がしたいのかと聞かれそうですが、人の身体を診ていますとだいたい生活環境・習慣・食へと行きます。

昨今、過食・飽食の時代とも言われますが、自然の良質なもののほど少なくなっているのが現状です。一概には言えませんが、アレルギーや現代病の発症は食べ物に含まれる化学物質等が大きく関わり、すぐに現れず子や孫の代に出てくるかもしれない恐ろしさもあります。大気汚染もそうですが、農薬や除草剤によって蜜蜂をはじめ虫や微生物の減少など、人間の生活が便利になる一方で大切な自然の働き手を失う結果となってしまっています。

現在、私は林業に携わり山の中で仕事をしています。若桜だけでなく智頭、三朝など鳥取県東部を中心に様々な現場に入り、伐採・搬出等の作業に従事しています。自然循環の起点でもある山を整え、学び、そこで得た叢智を里の生活に落とし込みたいと考え、この仕事を選びました。これからの時代を健康で豊かに生きる事ができる地域や社会づくりに少しでも貢献できれば幸いです。



意見・写真をお寄せください

メール gikaidayori@town.wakasa.tottori.jp

QRコード



あしがき

本町では、高齢者を対象とした町民の新型コロナウイルスワクチンの接種が始まっています。一日も早く平穏な日々に戻ってほしいと願うばかりです。

今回の議会だよりは、令和3年度当初予算や議会改革特別委員会の統編記事などを掲載しています。今期の議会だよりの作成も4年目に突入し、残すところあと数号となりました。最後の号まで気を抜くことなく読者にとって読みやすい紙面の作成に取り組みたいと思っています。

ぜひ、読後の感想・ご意見を上記メール等でお聞かせ下さい。

(記 梶原 明)

議会だより調査特別委員会

委員長 梶原 明

副委員長 山本 安雄

委員 山根 政彦

委員 青木 一憲

議長 川上 守